

南相馬市博物館平成29年度特別展「東北の自然を押し。東北の押し葉標本展」

福島大学ステージ報告

(福島大学資料研究所主催事業)

黒沢高秀

福島大学貴重資料保管室所蔵標本を中心に、地域の自然を研究する研究家の熱意、学生の卒論研究や修論研究の成果を展示し、資料の重要さや、貴重資料保管室で保管している資料の価値について福島大学関係者や地域の方々の理解を得ることを目的に、南相馬市博物館平成29年度特別展「東北の自然を押し。東北の押し葉標本展」福島大学ステージ（共催：南相馬市博物館．後援：福島大学，福島大学附属図書館，東北植物研究会，福島県植物研究会）が2017（平成29）年12月8日（金）から2018（平成30）年1月17日（水）に福島大学附属図書館1階ロビーで開催されました。福島県天然記念物ビャッコイの標本など、福島大学の学生達や教員の研究に用いられたさく葉標本，標本をもとにした論文，標本の植物に関する新聞記事などを中心に，南相馬市博物館の特別展でも展示された東北植物研究会会員の標本とその解説などが展示されました。

学内外から多くの方が訪れ，そのうち記帳をした人は主催関係者（研究所メンバーとその研究室学生・ゼミ生）11名，主催関係者以外の学内から59名，学外12名の合計82名でした。福島民友1月15日版に記事が掲載されました（「東北の「押し葉」紹介 17日まで福島で標本展」）。

本展示にあたり，南相馬市博物館は展示用品の貸与，展示作業，展示に関するアドバイスなど，全面的に協力をして下さいました。東北植物研究会は南相馬市博物館で展示した標本の一部や，パネルの一部をご提供下さいました。福島大学附属図書館はロビーや機材の使用に便宜をはかって下さいました。共生システム理工学類生物多様性保全研究室メンバーは展示作業及び撤収作業を手伝って下さいました。以上の関係者に，心より御礼申し上げます。（2018年1月27日）

## 展示の様子



全体



エントランス



挨拶文



標本と解説



植物写真パネル



パネル展示